

2020年4月1日

東海中学校・高等学校保護者各位
東海中学校・高等学校生徒諸君

東海中学校・高等学校
校長 佐藤 泰年

文科省「学校再開ガイドライン」にもとづく措置について

2020年3月24日付の文部科学省「学校再開ガイドライン」および26日付「教育活動の再開等に関するQ&A」にしたがって学校を再開するに当たり、ご家庭におきましても、また生徒諸君自身も以下の点に留意してください。

I ご家庭にお願いすること

毎朝、登校前に検温をしてください。

発熱など体調が思わしくない場合は登校を控えてください。なお、文科省の指示に従い、カゼの症状により登校しなかった場合でも、学校を「欠席」という扱いにはしません。

II 生徒諸君へ ～日ごろから注意してほしいこと～

こまめな手洗いをこころがける。

マスクなどを使って「咳エチケット」につとめる。

※ハンカチを使った簡単な手作りマスクの作り方が文科省ホームページにアップされています。

https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/mext_00460.html

消毒スプレーなどを利用する。

十分な睡眠時間をとる。

適度な運動を心がける。

バランスの良い食事をとる。

III 生徒諸君へ ～学校生活で注意してほしいこと～

教室の窓を開けてこまめな換気につとめる（雨天時でも廊下側の窓を開けるようにする）。

マスクを装着するなど「咳エチケット」につとめる。

教室の換気スイッチは入れたままにする。

昼食時は会話を慎む。

食堂を利用するときも、隣との間隔をあけて着席する。

消毒スプレーなどを利用し、手・指を清潔に保ち、とくに手・指で顔に触れない。

2クラス以上が1か所に集まるような授業・集会などは避ける。

部活動では、密集して活動せず、なるべく時間を短縮しておこなうよう心がける。
通学途上の混雑を避けるため、早めの登校を心がける。

〈参考〉集団感染の事例には次の3つの条件が共通していると言われてます――

- ①換気の悪い密閉空間
- ②多人数が集まる
- ③近距離で会話をする

IV 生徒諸君へ ～この機会に、君たちに考えてほしいこと～

文部科学省のガイドラインに従い、学校を再開いたします。これまでの臨時休業という厳しい措置から一転し、久しぶりに友人にも会い、再び学校で学ぶ生活が始まります。解放感を分かち合いたいところかと思いますが、現状は、感染拡大の危機が去ったわけではないということをぜひ認識してほしいと思います。

この間、報道などで「感染経路」という言葉が使われているのを君たちも聞いたことでしょう。感染とは目には見えない「輪」がいくつもつながっていくことです。その途中の「輪」の一つが、たまたま体力的に問題がなく、発症しなかったとしても、その「輪」の先に体力のない人や高齢者、持病などに苦しむ人がいることも十分に考えられます。私たち自身がそのような「輪」の一つにならないためには、私たち一人ひとりの自覚が求められています。今回の新型コロナウイルス感染拡大は、私たちの社会そのものが試されているのです。たかが手洗い、たかが消毒と思わないでください。君たちの日々の心がけは、君たち自身の身を守る以上に、他の人の命を守るためでもあるのです。

本校の「三綱領」の一つは「平和日本の有要な社会人になりましょう」です。君たちもこのような社会の構成員として、社会を担っていることをこの機会に自覚し、社会の一員にふさわしい行動をとってくださることを期待します。

※今後、国から緊急事態宣言が出されるなど、事態が急変する可能性もあります。

その場合は、本校のホームページや一斉配信メールでお知らせしますので、ご注意ください。